

平成16年7月20日
飯田 恭次
用賀出張所
TEL. 3700-3657

第 行	62 資 任	号 者 局
-----	--------	-------

早起き
ラジオ体操

三子玉川商店街振興組合
理事長 小滝文男

毎年、夏休みになると、NHKの全国巡回ラジオ体操の放送が始まります。

各地のたよりを載せて夏の
朝の風物詩です。

当商店街でも、二子玉川小学校の校庭を会場に、恒例の行事として三十年以上も続いています。

朝早くから、出席カードにクレヨンで思い思いの色を塗り、紐で首からかけた手に持った子供たちが、眠い目をこすりながら集まります。

六時半の時間となると
校庭一ぱいに広がった二百
人以上の参加者を　二子玉
川スポーツ少年団の小学生
が交代で、台上から元氣よ
く体操をリードします。

今年は、七月二十六日から三十一日まで開催されます。

六日間頑張った子供には
商店会で用意した、沢山の
参加賞が配られます。



上用賀熱涼盆踊り

和 田 善 之

今年も暑い夏がやってき
ました。上用賀納涼盆踊り
大会も十三回目を迎えます
年々来場者も増え、地味
の輪も大きくなり、初めの
頃は踊れなかつた子供達も
今では、親に、ゆかたを
着せてもらい、楽しそうに
踊っています。

また、テントの中で小聲の先生方が焼き鳥を焼いたり、やさそばを作ったりしている横で、又しぷりに会うクラスメート。卒業生が懐かしそうに話をしている姿も見られ、盆踊りは同窓会にもなっているようです。

今年も楽しいイベントが
盛沢山、待っています。

夏を楽しく

瀬田川の夏 日本の夏！

おやじの食 平澤光弘

瀬田の町に子供達の声は
はじける夏が今年もやって
来ました。瀬田小恒例の「
おやじの会サマーキャンプ」で
す。何せ全校生徒が五百名
に満たないのに四百名以上
が参加するのですから尋常
ではありません。カレライス
にスイカ、きもだめしに花火
そして学校に一夜するとい
う、他に類をみない夏のイ
ベント。子供達の胸の中に
、永く残ってくれることを
期待して、瀬田小おやじの
会の猪熊達が、運営、調理、
徹夜の重層整備と査關しま
す……。

な—んて、裏は、おやじ達
が一番エンジョイしている
のです。



夏だ！ 児童館だ！

五川台児童館

夏まつさかりで、児童館は、よりバワフルに事業を展開しています。7月3日土曜日の「じゃぶじゃぶ川」に始まり、小さいキャンプ、サマーキャンプ、もぐもぐ川、がります。さらに桜町小学校の夏祭りでは、今年も大さなフルを披露し、ウオーグスライダーをする予定です。

児童館内でも、幼児向けにフルを披露していますのでご利用下さい。他にも、夏休み工作や幼児とお母さんのいさめきなどにかがですか、いろいろな事ができる児童館なので、ぜひ、子どもといっしょに大人の方も来館してみして下さい。

納涼の夕べ

用賀三丁目 飯田峯男

平成六年に始まった納涼の夕べも今年で十一回を数えることとなりました。

私たち用賀町会のエリアにはいらか道があつて、人の小川が流れておりますこの小川を利用して何か子供向けイベントをやろうというのが始まりでした。

夕方、どじょうずくいをしてもらい、日が落ちてからは灯籠舟を浮べて、その出来映えを競つております。

また、模擬店を出して通りがかりの人たちにも楽しんでもらつております。

このイベントも年々盛況となり、昨年は松丘小学校の生徒も来てくれました。



新編集長から

ひとこ

飯田恭次

前新徳長 鈴木武一氏引退の後を受けて、本号より、私、飯田がその性に当たる事になりました。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

いたします。

私たちの一番身近な生活圏は五川、瀬田、五川台、用賀、上用賀の皆様の声を正確に、そして地域情報、をタイムニア良くお伝えして文字通り皆様のひろげに、なればと思っております。

さて、私たちの町は多摩川の水と緑、砧公園や馬事公苑の木々等、自然環境にとっても恵まれています。

一方、東社会の時代を迎えて、東京への西の玄関口
 々が、毎朝、NHK
 TVの画面に登場し、有名
 になりました。

又、佐歩屋内に美術館等の文化施設、学校、医療機関も充実しています。

今、この町に住んでいる人、この町で仕事をしている人、これから、この町に仲間入りする人、私たちは皆でこの町を愛し、育てよう。……その輪が広がる事に、より、明るい安全な町が築かれて行くと思います。

その為には、まず、隣近所、爽やかな優しい、木洩れ日々の様な人間関係を大切にする事が重要なのではないでしようか。



郷土紹介

大山灯籠

手玉川 会長 池田良夫
郷土会
天候の良い日には、西に富士山と丹沢の山々が眺められますが、山並みの左の端にひときり目立って尖った山頂があります。

相州大山阿夫利神社の奥の院が祀られています。

雨降り神社としての豊稔の神様も、江戸中期、市中の庶民の間で大山詣が盛んになり、水に縁のある火洲や蔵人の講中等、山開きや盆山（八月十三日）十七日までの例祭に合わせて参拝する人々の往来で、用賀や瀬田の大山街道は大いに賑わったようです。

海の道しるべが灯台ならば、陸の道しるべとしては

ようがミニミニクラブ誕生

マラソン 興島萬里子
用賀小学校では、昨年度まで学校協議会の健全育成事業として「上用賀ミニミニクラブ」の活動を月3回行ってきました。

これは、軽スポーツや、ミニスポーツを自由に楽しんだり、ついでに図書館や、ついでにサウナ、ふれあいパソコン、塾等を行ったりと、遊べる本場として子供達や地域の皆様に現しまれてきました。

そして、今年度からは更に広い上用賀、用賀地域の誰でもが、さまざまなスポーツや文化活動を継続的に楽しく行えるミニミニクラブの場を創るために「ようがミニミニクラブ」を設立しました。これは地域で活動場所

灯明台とか、灯籠があります。

神社の参道にある灯籠よりも実用的で、道中の道案内の役目をしていた様です。

赤坂御門から伊勢原の鳥居までの道中の各村々では、村境いや道標の横に立てた春日灯籠のような形のもの、棒状の和紙の四角な灯籠を束ねた簡単なもの等、小皿に燈油と「トウスミ」という灯心を入れて火を灯し、目標とした様です。

瀬田の交番から行違尋へ分かれる道端にも大山灯籠があったようです。

高井区の子供では、今でも五軒の旧家が交代で、お盆に道端の灯籠に火を点す行事が残っているそうです。大山灯籠のなごりでしょう。



みんなで楽しく

を確保し、「子供達の健全育成」と「豊かな地域コミュニティ」の形成を目的として、地域の指導者を活用し、参加住民が会費を払って自主運営します。まちのみんなで作る「地域ミニミニクラブ」の誕生です。

みなさんで力を合わせて明るく元気なようがのまちを創っていきましよう。

又、第二土曜日の午前中は今まで通り、誰でもが自由に参加できる本場として活動を続けていきます。（上用賀ふれあい本場と改称）

「ようがミニミニクラブ」と「上用賀ふれあい本場」は是非ご参加下さい。（事務局は 用賀中学校内 3700-6206）

ふるさと用賀

用賀三丁目 小野塚 昭

故郷は忘れものの出来たもの、と言われているが、私は、東京生まれで東京育ちであり、山、川、海には縁がなく、学生時代にいった思い出のみです。

戦時中、用賀に家作があったため、疎開で小学校入学までおりました。が、父の空襲に遭い、ロケットで逃げ廻った時、一年生の下校の際、食糧難のため腹が

減り、畑の大変を少々頂き、手で揉んで口に入れ、カムの様になるまで噛んで食べた事など、余り良い思い出はありません。

結婚して用賀に又入り三十六年が経過し、用賀も第二の故郷と感じているこの頃です。

スポーツ

今年の夏の行事

①金曜日

用賀くすのき公園

7月21日(金)22日(木)

五川三丁目高家下

7月23日(金)24日(土)

瀬田小学校

7月31日(土)8月1日(日)

用賀小学校

8月20日(金)21日(土)

②子ども映画会

上用賀アートホール

7月22日(木)

瀬田小学校体育館

8月7日(土)

用賀区民集会所

8月25日(水)

③納涼の夕べ

用賀いらか道

8月23日(月)

④せたがや区民まつり

JRA馬幸公苑

7月31日(土)8月1日(日)

わが故郷

最近、この第二の故郷用賀で、登校中の小学生たちに会い、「おはよう、いってらっしゃい」の言葉をかけてあげたら、小学生たちはこちらの目を正視して、「おはようございます、いってきます。」と言葉を返して通り過ぎて行った。

私の心にはほのぼのとした暖かい風が入ってきた。この用賀の町も為更替たものではない、まだ、大丈夫と感ぜられた。

こんな一つの時から、我々もこれからの用賀を育てるべく、なにか行動を積極的に起すべき時ではないかと考え始めている昨今です。



暑い夏がやって来ましたが、子供達には楽しい夏休み。さてどこへ行こうかな？ いやいや地元のもちでも、種々楽しい催しが一ぱい。盆踊り、映画会、灯籠流しに早朝のラジオ体操等々、これを機会に子供と子供親と子、又近所同窓のお付き合いが始まれば最高と思われまします。

飯田新橋集会所も望んでおられるように、爽やかな、優しい、木漏れ日の様な人間関係が芽生えて来れば、このまちが、わたしの第二の故郷だと必ず感じられるようになると思われまします。是非皆さんでカンパリましょう。（鈴木 登）